

七郷用水

七郷用水は、日野川の支流である天王川の七郷用水堰から取水され、越前町、福井市の約 255ha の農地をかんがいしています。

七郷用水の歴史は深く、中世にまでさかのぼります。この地域は天王川の左岸地域一帯の越前町(旧朝日町)から福井市(旧清水町)真栗にかけて七つの郷が形作られました。

南北朝時代(1387年～1388年)の文献には、既に七郷の記述が見られることから、用水の成立もその頃からではないかと言われています。

七郷用水は、この頃から天王川の左岸一体の用水として、地域の生命線の役割を担ってきました。

現在の七郷用水は、かんがい用水としてだけでなく、農機具や野菜の洗浄用水として利用されているほか、冬には消雪用水に利用されるなど、幾世代にも渡り地域の身近な水辺空間として親しまれています。

